

SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業ステークホルダー交流会 SeasonⅡについて ～教職員や生徒と企業等が交流・対話を通して連携・協働のきっかけをつくる場～

1 目的

地域や社会の課題解決に向けて、教職員や生徒と企業等が連携・協働する見通しを持ち、きっかけをつくる。

2 日時

令和6年12月26日（木）13:30～15:30

3 会場

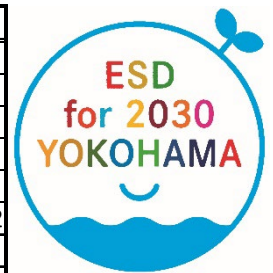
TECH HUB YOKOHAMA（テックハブヨコハマ）



4 参加校と参加人数（A～Fは当日のグループ）

	学校	教職員	生徒
A	東小学校	2	
	恩田小学校	1	
	三保小学校	1	
	笹野台小学校	1	
	西部学校教育事務所	1	
B	中川西中学校	1	2
	健康教育・食育課	2	
C	中川西中学校	2	2
	二つ橋高等特別支援学校	1	
	教育政策推進課	1	

	学校	教職員	生徒
D	旭小学校	1	
	永野小学校	1	
	二つ橋高等特別支援学校	2	
	西部学校教育事務所	1	
E	東高等学校	2	2
	南部学校教育事務所	1	
F	本郷中学校	1	
	市ヶ尾中学校	1	
	YSFH附属中学校	1	
	小中学校企画課	2	



5 参加企業等（五十音順）

- ・株式会社SolarCrew（空き家を活用した、コミュニティ型防災拠点について）
- ・株式会社ビートバップ（メタバース内での最新のデジタルスキル習得について）
- ・株式会社ペガサス（共創事業「はまっ子防災プロジェクト」について）
- ・株式会社レジリエンスラボ（企業・組織に対する防災・BCP（事業継続計画）対策支援）
- ・ピープルポート株式会社（使用済みPCを再生し、難民の雇用創出や循環型社会の実現）
- ・三菱地所株式会社（グランモール公園における交流の場づくり）

6 時程及び内容

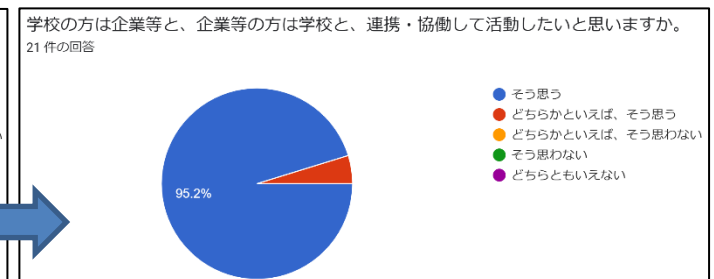
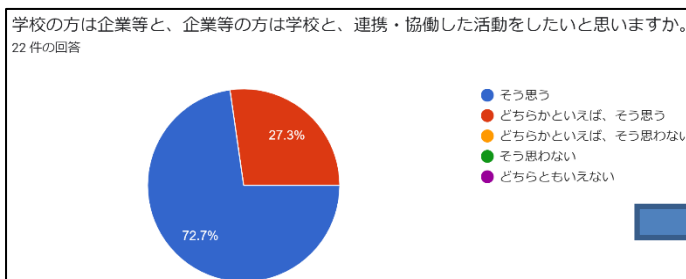
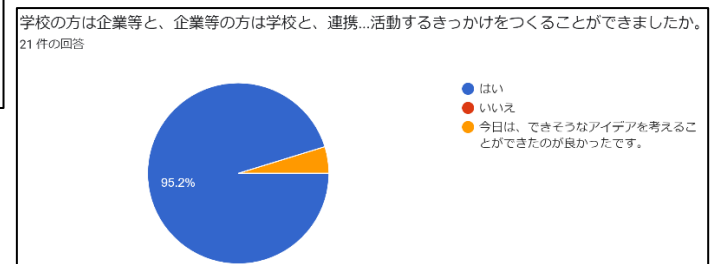
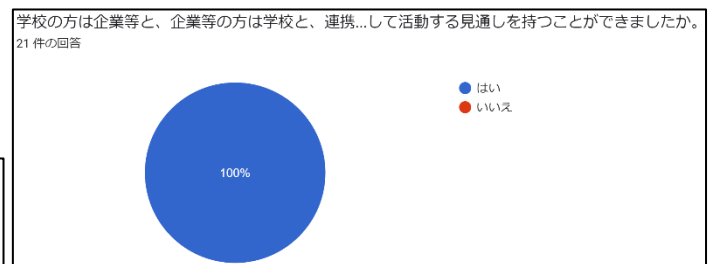
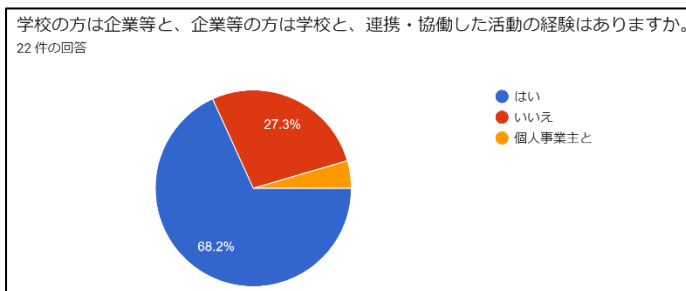
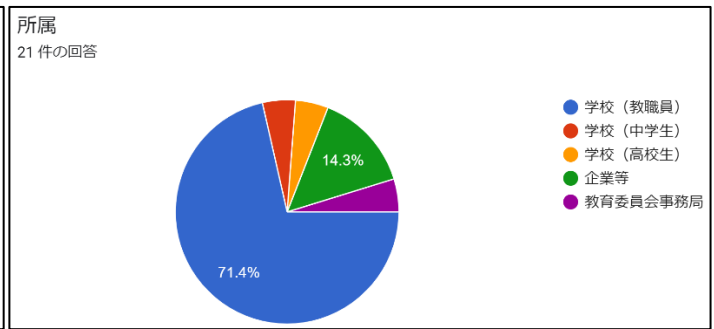
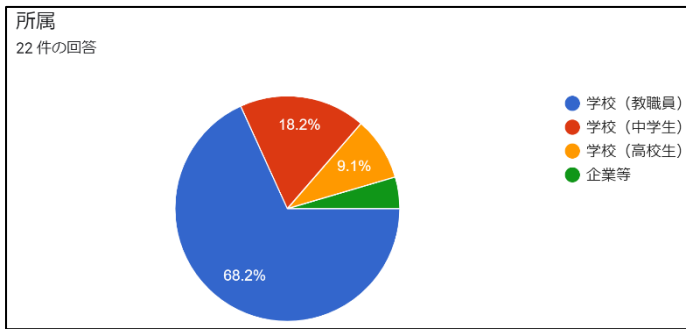
時刻	内容
13:15	受付開始
13:30	開会
13:35	【ポスターセッション（約10分×6回）】 ①企業等からのプレゼン（6分程度） ②質疑応答・補足説明（3分程度） ③学校教職員及び生徒ブース移動（1分程度）
14:35	【休憩】
14:45	【意見交流（30分）】 ブース発表を受けて、学校と企業がSDGsを軸に 連携・協働して課題解決していくための相談や意見交流
15:15	事後アンケート回答・まとめ・閉会



7 アンケート結果

【事前】

【事後】



本交流会を通して参会者からは、「教員1年目のため総合的な学習や社会科などに深みを持たせるためにどのような工夫が必要か悩んでいた。今回、企業の方々の取り組みを拝聴し、自身の授業の見通しやこのような授業をやりたいという意欲をもつことが出来た。」「世界が広がりました。いろいろな方と関わりをもってチャレンジしていくことで、難題に立ち向かうことができると思いました。」「企業の方と私達がどうつながることができるか、お話を聞く中で色々考えることができました。今回つながりができたので、ぜひそのつながりを大切にしたいです。」「教員という世界にしか携わらないと、企業的な視点で教育を考えていく機会が本当に少ないことを実感しました。それと同時に、様々な角度での危機感や企業連携の重要性を実感できました。」といった振り返りがあり、アンケートの「学校の方は企業等と、企業等の方は学校と、連携・協働して活動する見通しを持つことができましたか」「学校の方は企業等と、企業等の方は学校と、連携・協働して活動するきっかけをつくることができましたか」という質問項目のどちらの結果も肯定的な回答が100%だった。また、「学校の方は企業等と、企業等の方は学校と、連携・協働して活動したいと思いませんか」という質問項目の結果も「そう思う」が95.2%、「どちらかといえばそう思う」が4.8%で、肯定的な回答で100%となった。

これらのことから、本交流会の目的である「地域や社会の課題解決に向けて、教職員や生徒と企業等が連携・協働する見通しを持ち、そのきっかけをつくる」ことを十分達成できたといえる。

【事前】「本日のステークホルダー交流会で実現したいことは何ですか。」

様々な企業との交流をさせてもらうことでより教育活動を通し生徒の資質能力を高めるため参考にしたい。

学校と企業の交流を通じて、視野を広めたい。

本校では、職業の授業があり、外部からの受注作業を請け負っています。企業様の考える CSR を実現するために本校の生徒が少しでも一端を担えたらと思っています。

今回で終わりではなく、今後もつながって何かできると良いなと思います。

取組の紹介と今後の連携検討

企業と連携できそうなことを一つでも多く見つけ、自校に伝えたいです。

企業が行っている SDGs 達成のための取組を学校の生徒会活動に取り入れる

いじめなどの社会的問題を企業、学校が理解できるようにする

【事後】「本日のステークホルダー交流会で実現できたことは何ですか。」

様々な面白いアイデアを考えることができた。(学校パソコンリサイクル構想、空き家活用と連携した販売構想、公園を活用した学校のアピール、BCPの立て方を学ぶ、防災教育×BCP、避難訓練より防災教育など)

今後の実践の見通しがたった

市内でSDGsやESGに積極的に取り組む学校様とお話する中で、エコシステムの的にセクターを超えて社会課題に取り組む接点がありそうだ、とまず知ることができました。

学校と企業、お互いにウィンウィンの取り組みがいろいろなところでできそうなヒントをいただきました。これからの未来を担って行く子どもたちにsdgsを考えてもらう良いきっかけになるはずと思いました。

自分のやりたいことについて具体的な考えを深められた。

学校と企業のつながりを作ることができた。

教員1年目のため総合的な学習や社会科などに深みを持たせるためにどのような工夫が必要か悩んでいた。今回、企業の方々の取り組みを拝聴し、自身の授業の見通しやこのような授業をやりたいという意欲をもつことが出来た。

BCPを意識した防災計画の立案に向けての支援

色々な企業の話聞いて、ワクワクしました。これからどのような事ができそうか具体的にイメージすることができました。

防災、環境の取組で新たな視点があることができました。

企業の方と私達がどうつながることができるか、お話を聞く中で色々考えることができました。今回つながりができたので、ぜひそのつながりを大切にしたいです。

ゴミ拾いの活動など、これからやりたい活動を見つけることができたこと

世界が広がりました。いろいろな方と関わりをもってチャレンジしていくことで、難題に立ち向かうことができると思いました。

企業との関わりができることが児童にとって大切だなと改めて思いました。

具体的な課題が聞けました

教員という世界にしか携わらないと、企業的な視点で教育を考えていく機会が本当に少ないことを実感しました。それと同時に、様々な角度での危機感や企業連携の重要性を実感できました。

学校で取り組むべき課題が見つかった

今日参加の企業は次世代を創る革新的な企業ばかりでした。防災についてとりくんでいる企業が多く、自校の防災教育を考え直すきっかけとなりました。今まで見聞きしたことがない取組も多く、生徒にも伝えていければと思います。このような機会をありがとうございました。